

# 「2025年度春季研究発表大会」のお知らせ

## 更新履歴

- 12月23日：「2025年度春季研究発表大会」のお知らせを公開（v1）
- 2月26日：基調講演のタイトルを追記（v2）
- 3月7日：パネリスト情報の追加、要旨の投稿期限の延長（v3）
- 4月9日：基調講演、ラウンドテーブル、プログラム、会場案内等を追記（v4）

---

## 第39回 国際P2M学会 研究発表大会 The 39th Congress of International P2M Association

### サステナビリティ実現に向けたイノベーションとP2M

2025年度の国際P2M学会春季研究発表大会を、下記の要領にて開催いたします。大会テーマは、「サステナビリティ実現に向けたイノベーションとP2M」です。つきましては、会員の皆様の研究発表を募集いたします。発表ご希望の会員は、以下の申し込み要領をご参照のうえ、期限までにお申し込みください。なお、本大会は東京都市大学横浜キャンパス会場における対面とオンラインのハイブリッド形式にて開催いたします。遠方の方でもご自宅やご勤務先からご参加いただけますので、ぜひこの機会をご利用いただければ幸いです。

#### 1. 開催日・形式

- 開催日 : 2025年4月19日（土）  
開催校 : 東京都市大学  
会場 : 東京都市大学 横浜キャンパス  
〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3丁目3-1  
開催形式 : 会場と配信のハイブリッド

※インターネットに接続可能なパソコンやタブレット PC、スマートフォン等からご参加いただけます。

発表方法や参加方法の詳細は、決定次第本学会のHP上に掲載するとともに、オンラインでの参加方法は研究発表大会参加申込者にメールにて送信します。

## 2. 開催団体に関する情報

- 主催 : 一般社団法人 国際 P2M 学会 (※)  
共催 : 東京都市大学  
会長 : 国際 P2M 学会会長 亀山秀雄  
大会実行委員長 : 岡田 公治 (東京都市大学 教授)  
大会実行副委員長 : 佐藤 真久 (東京都市大学 教授)  
企画委員長 : 小笠原 秀人 (千葉工業大学 教授)  
企画副委員長 : 新谷 幸弘 (千葉工業大学 教授)  
岡田 公治 (東京都市大学 教授)  
企画委員 : 山本 秀男、白井 久美子、石川 千尋、阿部 智恵  
編集委員長 : 武富 為嗣  
予稿集編集長 : 中野健太郎  
予稿集編集委員 : 加藤 智之、長島 匠、土井 寛子  
協賛 (五十音順) : 一般財団法人 日本科学技術連盟、一般社団法人 PMI日本支部、  
一般社団法人 研究・イノベーション学会、  
一般社団法人 情報サービス産業協会、一般社団法人 日本生産管理学会、  
特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会、  
日本 SPI コンソーシアム、日本ソーシャル・イノベーション学会

※ 一般社団法人 国際 P2M 学会 : 国際 P2M 学会事務局 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5  
アカデミーセンター(平日 : 10 時~17 時) TEL: 03-6824-9371/FAX:03-5227-8631

## 3. 大会趣旨

第 39 回研究発表大会のテーマは、「サステナビリティ実現に向けたイノベーションと P2M」です。

環境問題・社会問題・経済問題が複雑に絡み合う中、誰一人取り残すことなく、それらの問題を解決し、持続可能な世界 (サステナビリティ) を実現していかなければなりません。そのためには、技術イノベーションだけでなく、企業のビジネスモデルの変革などのエンタープライズ イノベーション、ビジネスエコシステムを含む産業構造の再構築などのインダストリアル イノベーション、地域創生や社会行動規範の変容などのソーシャル イノベーションといった様々なイノベーションが必要になると思われます。それらの重層的で複雑な構造の中で、加えて不確実性が極めて高い状況下において、如何に、実現可能性の高いイノベーションをデザインあるいは計画するか？ そして、成功に向けてその実現過程を如何にマネジメントするか？ が問われています。本大会では、より良いイノベーションデザイン/計画、より良いイノベーションマネジメントとは何か？ について、「サステナビリティ」と「イノベーション」そして「P2M」を軸に議論を深めていきたいと考えています。多くの方々の参加をお待ち申し上げております。

**4. 大会スケジュール：** ※ 都合により、変更される場合があります。

**(1) 午前：研究発表の部** ※発表プログラムは、この文書の最後に記載されています。

09:40 - 12:00 研究発表

**(2) 午後：基調講演とパネル討論**

11:30 - 12:30 昼食休憩

12:30 - 13:30 総会（学会員のみ）

13:30 - 13:40 休憩

13:40 - 13:50 開会挨拶、開催校挨拶

13:50 - 14:30 基調講演 1：

「サステナビリティを実現するイノベーションのためのシンセシスアプローチ」

東京大学 大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 梅田靖 教授

14:30 - 15:10 基調講演 2：

「サステナブルイノベーションの鍵 — アブダクションと共感」

東京都立大学 システムデザイン学部 機械システム工学科 下村芳樹 教授

15:10 - 15:30 休憩

15:30 - 17:00 パネル討論：

「サステナビリティ実現に向けたイノベーションを促進するには、何か必要か？」

パネリスト：

東京大学 梅田靖 教授

東京都立大学 下村芳樹 教授

アイロボットジャパン合同会社 挽野元 代表執行役員社長

環境再生保全機構(ERCA) 亀山秀雄 社会実装支援コーディネーター

17:00 - 17:10 休憩

17:10 - 17:20 閉会挨拶

## 5. 研究発表大会参加費関連

- ◆ 大会参加費 : 今大会の参加費支払いは 全て事前振込みのみにて受け付けます。

会員	: 正会員、法人会員に所属の方	9,000 円
	: 学生会員	3,000 円
非会員	: 社会人、社会人学生	12,000 円
	: 学生、大学院生	5,000 円

下記学会の銀行口座宛にお振込下さい。(振込最終締切: 2025年4月11日(金))

4月12日(土)以降は、参加申込ならびに参加費振込の受付は致しません。

また、4月11日(金)迄に未振込の場合は、投稿論文を予稿集に掲載致しません。

※予稿の筆頭著者(当日の発表者)は、国際P2M学会会員に限られます。当学会に未加入の方は、遅くとも2025年4月4日(金)までに入会手続きを済ませてください。新規入会には、上記参加費とは別に、正会員が12,000円(入会金2,000円、年会費10,000円。社会人学生を含みます)、学生会員が6,000円(入会金1,000円、年会費5,000円)、必要となります。

尚、入会費の振込み先は ホームページ及び入会申請フォームに記載の「ゆうちょ」口座です。大会参加費振込口座とは異なりますのでご注意ください。

入会手続きの詳細は、学会ホームページから、こちらをご覧ください

→ <http://iap2m.org/accept>

- ◆ 午後の部(基調講演とパネル討論)のみの参加費用

会員・非会員とも : 3,000 円

- ◆ 情報交換会費用 : 4,500 円【当日払い : 5,500 円】

- ◆ 大会参加費振込み先銀行口座 :

三井住友銀行(銀行コード: 0009)

飯田橋支店 (店番号: 888)

普通預金 (口座番号: 7098073)

口座名義 (一般社団法人 国際P2M学会)

※大会参加費の領収書は、入金後、領収書(PDF)をメールで送付いたします。宛先の指定がない場合は本人宛の領収書になりますので、ご注意下さい。

- ◆ 留意事項

※ 振込済みの参加費は、不参加の場合でも返金できません。

## 6. 参加申し込み方法

### ◆ 参加申込期限

論文投稿者：4月4日（金）迄に申込み登録を済ませてください。

大会参加のみの方：参加費振込の締切4月11日（金）迄に申込登録を済ませてください。

### ◆ 研究発表大会参加申込みはこちらから（注. 発表者も、申込み登録が必要です）

[https://www.iap2m.org/regist\\_taikai.html](https://www.iap2m.org/regist_taikai.html)

### ◆ 参加登録に関する参考情報

ブラウザが Internet Explorer の場合、バージョンが新しいと無応答になる場合があります。

次の操作を参考にして下さい。<http://www.iap2m.org/pdf/ie201309.pdf>

## 7. 発表者への要旨と予稿の投稿登録に関するご案内

### ◆ 要旨の投稿期限及び方法：これに基づく研究発表プログラムは別に掲載します。

**投稿期限：2025年3月17日（月）23時59分**

※延長しました（これ以上の延長はありません）

投稿方法：要旨は、次の URL から、web 登録画面に従い入力して下さい。

[http://www.iap2m.org/regist\\_smallcongress.html](http://www.iap2m.org/regist_smallcongress.html)

査読選択：予稿論文の審査を希望される方は、査読希望「●有」を画面上で選択してください。

尚、採択後の論文の学会誌掲載料は 30,000 円です。

投稿形式：スライド形式のみの予稿も歓迎します。但し、その場合、査読は選択できません。

### ◆ 発表予稿投稿期限：2025年3月24日（月）18時

（厳守 ※締切後の投稿は一切受け付けられません。）

投稿方法：要旨投稿時に登録されたメールアドレス宛に、後日、編集委員から「予稿投稿方法」に関するメールが届きます。それに従い、MS-Word および PDF 形式の予稿を投稿してください。

### ◆ 受付メール確認のお願い

要旨及び予稿投稿締切後、編集委員より受付メールを登録アドレス宛に送信します。

なお「(at)iap2m.org（(at)を@に読みかえてください。）」のドメインから届くメールが、迷惑メールフォルダに入らないように設定してください。万が一、着信しなかった場合は、下記学会事務局宛にお問い合わせ下さい。

国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

### ◆ 査読を希望される方へ

査読論文：当学会では、予稿が査読論文として審査されます。ただし、発表された論文に限ります。

頁数：最大 20 ページ

論文形式：本学会 HP「学会論文関連情報」（下記 URL）にある規程等（「国際 P2M 学会誌投稿規程」、「学会論文投稿規程補足」ほか）を遵守してください。また「学会論文サンプル」も下記 URL に掲載されていますので、ご活用ください。

学会論文関連情報：<http://iap2m.org/ronbun-info/>

補 足：

- (1) 予稿集に掲載された論文は、辞退などにより発表されなかった場合も、同じ内容では再投稿はできません。
- (2) 予稿に P2M との関連性と関連参考文献を明記願います。当学会の過去の論文誌は、J-stage から閲覧できます。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/iappmjour/-char/ja>
- (3) 論文執筆経験が浅い方は、「9. P2M セミナー動画の掲載」にある Youtube「IAP2M チャンネル」にある論文の書き方に関する動画を視聴するほか、学術論文作成経験者から論文作成の指導を受けることをお勧めします。またスライドではなく論文を予稿として投稿される方は、英文要旨（または英文本文）について、可能な限り英文としての品質向上に努めて下さい。

◆ 予稿提出期限の延長申請

発表時のコメントなどを参考に今大会で提出された予稿を改訂し、次期大会に査読用論文として提出できます。

- (1) 研究発表大会の発表者は、要旨を提出する際、査読希望の有無を申告する（今までと同じ）
- (2) 査読を希望する発表者は、今大会の予稿論文を期限までに提出する（今までと同じ）
- (3) 査読を希望する予稿提出者には、予稿提出後、編集委員または大会企画委員から、a) その予稿論文で査読を希望するのか、b) 改めて提出する修正研究論文の査読を希望するのかをメールで確認しますので、返信時に a) か b) のどちらかを回答する。
- (4) 上記3.b)の修正研究論文（但し、論文タイトルと要旨の変更は予稿と同じでなければならぬ）は、次の大会の予稿提出期間中（次大会の要旨提出締切日～予稿提出締切日の間）に提出されなければならない。
- (5) 査読部会と編集委員長は、次期大会の論文審査時に、上記3.b)の論文を含めて審査する

◆ 発表方法：発表者に対して別途メールにて連絡いたします。会場での発表、遠隔地よりオンラインでの発表より選択可能です。議論を活発にするため会場での対面での発表を推奨しますが、オンラインによる発表であっても査読に不利になるなどの影響は全くありません。

◆ 発表時間（予定）：発表 15 分以内、質疑応答 5 分（全体で 20 分以内）

◆ 発表奨励賞：受賞者を選出し 5 月中旬頃に学会ホームページ上に掲載し表彰します。

## 8. P2M セミナー動画の掲載

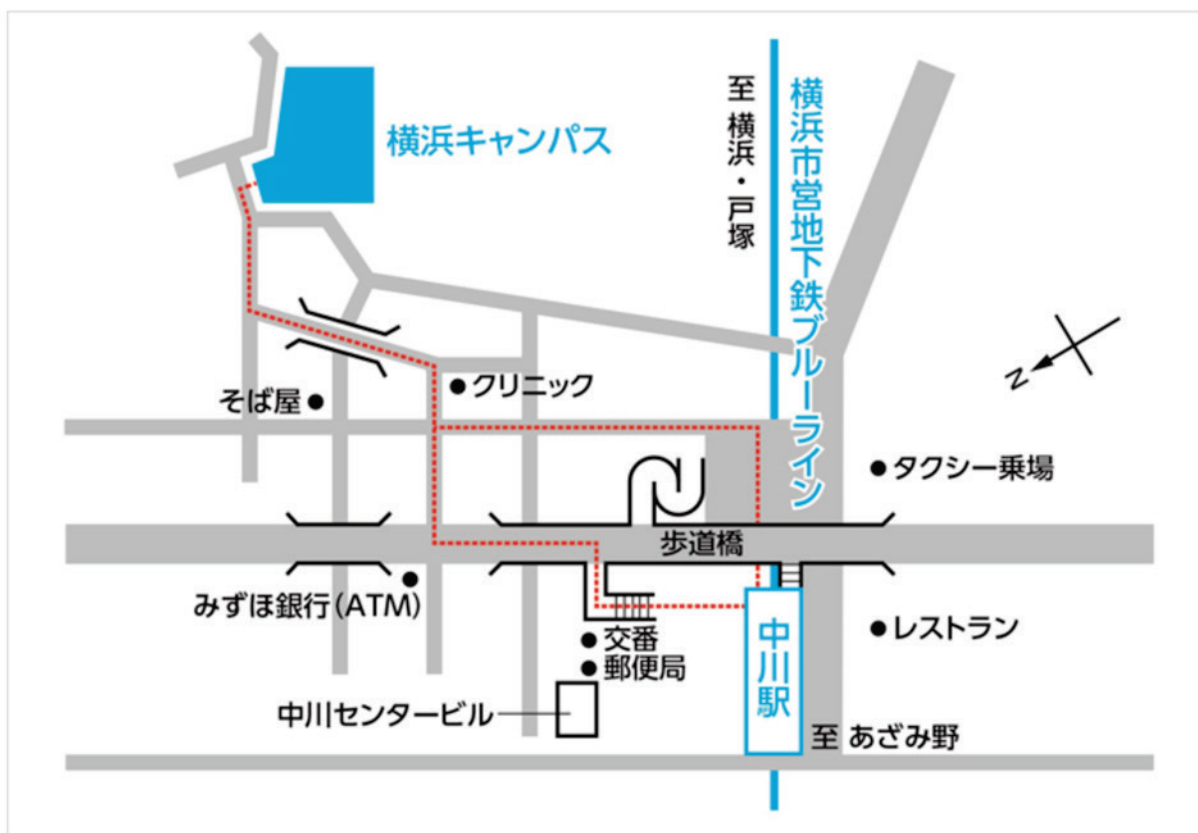
国際 P2M 学会では、P2M の基礎知識、事例による P2M の理解、適用事例や、論文の書き方について、本学会ベテラン講師陣が分かりやすく解説した次のセミナー動画（YouTube）を作成しています。P2M に関する知識を深めたい方、論文執筆経験の浅い方など、広くご視聴いただければ幸いです。詳しくは、次のリンクをご参照ください。

<http://iap2m.org/youtube/>

9. お問合せ先：国際 P2M 学会事務局 <http://iap2m.org/con-2/>

## 会場案内

横浜市営地下鉄ブルーライン「中川（東京都市大 横浜キャンパス前）」駅下車 徒歩5分



### 横浜キャンパス

〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西3-3-1

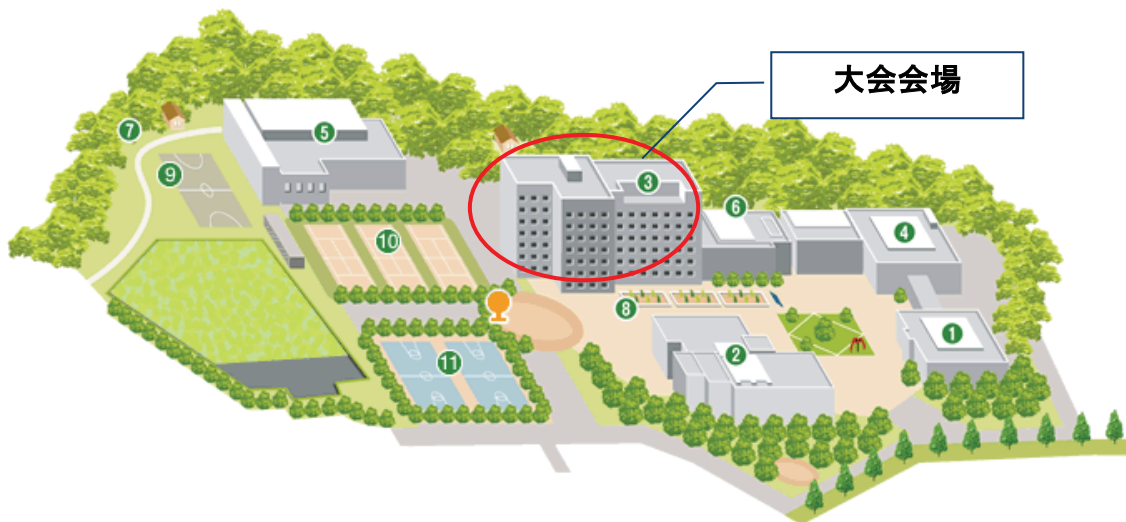
TEL : 045-910-0104 FAX : 045-910-2600

●横浜市営地下鉄ブルーライン「中川（東京都市大 横浜キャンパス前）」駅下車 徒歩5分

# 大会会場詳細

大会会場 : 東京都市大学 横浜キャンパス 3号館 2階

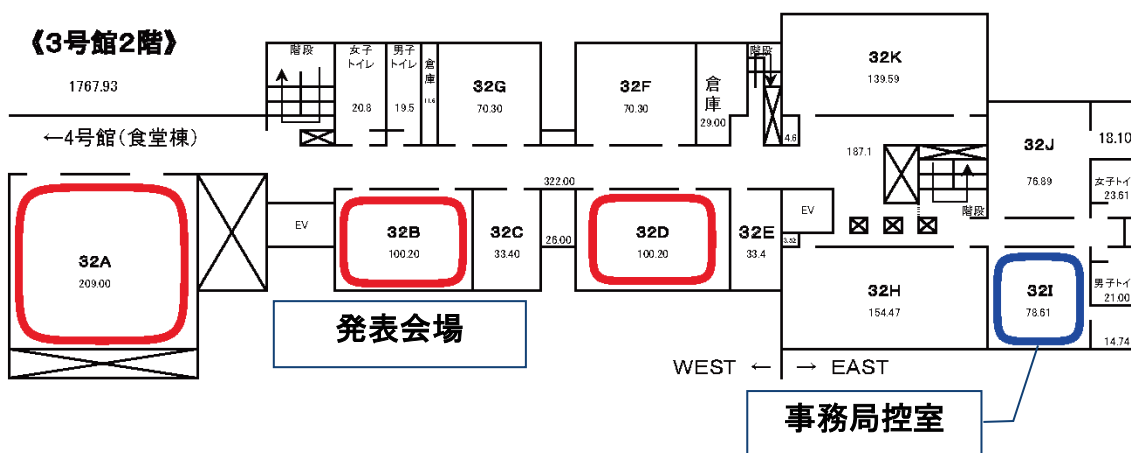
## 横浜キャンパス キャンパスマップ



- |                      |                 |             |
|----------------------|-----------------|-------------|
| ① 1号館 (本館)           | ⑤ 5号館 (体育館、部室棟) | ⑨ フットサルコート  |
| ② 2号館 (図書館・情報基盤センター) | ⑥ フィールド演習室      | ⑩ テニスコート    |
| ③ 3号館 (講義・研究棟)       | ⑦ 保全緑地、公開遊歩道    | ⑪ プレーコート    |
| ④ 4号館 (食堂棟・学生ホール)    | ⑧ ビオトープ         | 📍 シャトルバス停留所 |

## 会場レイアウト

### 大会会場





2025年4月19日(土) 第39回 国際P2M学会(2025年度春季) 研究発表大会(午前)			
開催校: 東京都市大学(横浜キャンパス)			
サステナビリティ実現に向けたイノベーションとP2M			
会場	A会場(32A教室)	B教室(32B教室)	C教室(32D教室)
研究発表 トラック	P2Mに基づく社会実装	P2Mの組織/業務への応用	P2Mを支える手法
座長	A-1~A-2: 山本秀男	B-1~B-2: 玉木欽也	C-1~C-2: 小笠原秀人
	A-3~A-4: 和田義明	B-3~B-5: 沖浦文彦	C-3~C-4: 新谷幸弘
9:40-10:00	<b>A-1: 岡田久典</b> P2Mの活用による環境三社会統合(1)	<b>B-1: 加藤智之</b> P2M マガジン解説 製造業におけるDXとアジャイルに関する一考察	<b>C-1: 日出間健、児玉拓海、岡田公治</b> ビジネスモデル変革プログラム&プロジェクト計画策定のための価値創造ストーリー分析フレームワークの提案
10:00-10:20	<b>A-2: 久保裕史、大島圭子、田畑美世、森田将義</b> P2Mを用いた産官学民エコシステム戦略構築法	<b>B-2: 加藤智之、西田絢子、越島一郎</b> スケーラブルアーキテクチャに基づく価値創造型P2Mの展開-プログラムマネジメント実践場としてのデジタルツインに関する考察-	<b>C-2: 齊藤毅、佐藤祐也</b> P2Mのための技術ロードマップの有効性に関する事例研究
10:20-10:30	休憩		
10:30-10:50	<b>A-3: 亀山秀雄、東條純士、飯田浩二、富永貴寿、大倉寿之、坂井敬、梶山典子</b> 競争的資金提供機関(FA)におけるP2Mを活用したサステナビリティ・イノベーション支援: PO/SCの機能強化による社会実装促進	<b>B-3: 荒川正頼、久武昌人</b> P2Mの視点による企業の不正不祥事の情報構造の分析	<b>C-3: 菊地剛正、谷河元春、吉川厚</b> 住民間の相互作用と自治体からの影響を考慮した公共交通機関選好のエージェントモデル
10:50-11:10	<b>A-4: 新多泰典、佐藤照友旭、岡田真平</b> P2Mを活用した高地トレーニング拠点の整備とスポーツを通じた地方創生の提案	<b>B-4: 岡本華枝、徳永基与子、鈴木克明、小笠原秀人</b> P2Mに基づく統合実習における多重課題演習フレームワークの開発	<b>C-4: 柳橋航太、児玉拓海、岡田公治</b> ビジネスモデル変革プログラムにおけるビジネスエコシステム構築に向けたパートナー企業視点型シミュレーション実験環境構築法の検討
11:10-11:30	<b>A-5: 谷口邦彦</b> パンデミック環境に対応した活動の構築に関する研究 III	<b>B-5: 坂上慶子</b> ベストミックスの学びスタイルの有効性について P2Mプログラムマネジメントの基本概念における一考察	
11:30-12:30	昼食休憩		
12:30-13:30	総会(会員のみのみ) 会場: 32A		
13:40-13:50	開会挨拶: 亀山秀雄氏(国際P2M学会会長) 開催校挨拶: 飯島健太郎氏(東京都市大学 環境学部長)		
13:50-14:30	基調講演1: 「サステナビリティを実現するイノベーションのためのシンセシスアプローチ」 東京大学 大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 梅田靖 教授		
14:30-15:10	基調講演2: 「サステナブルイノベーションの鍵 - アブダクションと共感」 東京都立大学 システムデザイン学部 機械システム工学科 下村芳樹 教授		
15:10-15:30	休憩		
15:30-17:00	パネル討論: 「サステナビリティ実現に向けたイノベーションを促進するには、何か必要か?」 パネリスト: 東京大学 大学院工学系研究科 人工物工学研究センター 梅田靖 教授 東京都立大学 システムデザイン学部 機械システム工学科 下村芳樹 教授 アイロボットジャパン合同会社 挽野元 代表執行役員社長 環境再生保全機構(ERCA) 亀山秀雄 社会実装支援コーディネーター		
17:00-17:10	休憩		
17:10-17:20	閉会挨拶: 白井久美子氏(国際P2M学会副会長)		